

安倍政権の暴走を許さない!!

国民を無視した改定に反対！

自衛隊による海外活動＝憲法違反！は戦争への道だ！

「屈辱の日」といわれる4月28日、日米両政府は、日本国憲法で禁止された海外での自衛隊の武力活動につながる「日米防衛協力のための指針」（ガイドライン）の改定に合意した。

ガイドラインは、日本が他国に攻撃されたときなどに自衛隊と米軍の具体的役割を決めた文書ですが、1978年に11月制定されその後、1997年9月に改正されてきました。

4月27日から日米の外務・防衛担当大臣が会合し合意し、4月29日には同じ時期に訪米している安倍首相がアメリカ議会で演説を行う予定となっています。これまでは旧ソ連や周辺事態を想定して改定されてきましたが、今回はさらに宇宙やサイバー空間にまで拡大しさらには世界中で米軍の後方支援が可能となっています。

そもそもこのような憲法をも無視するような約束事を国民への説明や国会論議なしで進めようとする姿勢に怒りを覚えます。

政府は、自衛隊を戦争を行う部隊へとなし崩し的に強化し、世界中でアメリカと一緒に戦争をしようとしています。

奇しくもこの4月28日は、1952年（昭和27年）に発効された「サンフランシスコ講和条約」によって沖縄や奄美諸島が日本から切り離された日であります。沖縄では「屈辱の日」として平和を求め戦争に反対する抗議が行われていました。米軍・辺野古基地の建設をめぐる反対運動が続けられている最中の今回の改定合意は、有無を言わさないという政府の横暴な姿勢であり許せません。

私たちは、今回の合意内容に反対し、平和を求める全ての仲間の皆さんと共に闘い、訴えていきます。

2015年4月30日

J R 東海労大阪第二運輸所分会

